

平成 26 年度第 3 回総務省契約監視会の議事概要について

開催日及び場所	平成 27 年 3 月 13 日（金）総務省 11 階 11 階会議室
構成員（敬称略）	座長 北大路 信 郷 明治大学公共政策大学院ガバナンス研究教授 構成員 有 川 博 日本大学総合科学研究所教授 構成員 高 橋 伸 子 生活経済ジャーナリスト 構成員 園 田 智 昭 慶應義塾大学商学部教授

1 契約案件の審議

審議対象期間	平成 26 年 7 月 1 日～平成 26 年 11 月 30 日
抽出案件	4 件（対象案件 569 件）
審議案件	4 件
構成員からの質問・意見に対する回答	以下のとおり。

【抽出事案 1】（一般競争入札・最低価格落札方式）

「日 ASEAN 情報セキュリティワークショップ」の開催に関する事務の請負

契約相手方：（一財）日本データ通信協会

契約金額：12,960,000 円（落札率 100%）

契約締結日：平成 26 年 9 月 12 日

競争参加業者：1 者

意見・質問	回答
（北大路座長） 日本と ASEAN の情報セキュリティに関する連携事業というのは、ある程度、中期的に続くような計画か。	このワークショップを開催することになった背景として、2009 年から、日本と ASEAN 地域の国々のセキュリティを確保するということで、議論の場を作っている。 現状のワークショップでは各国の現状とベストプラクティスを共有しているという段階であり、少なくともあと数年は継続をさせていただければと考えている。
（北大路座長） 日本データ通信協会は、2009 年からの一連のプロジェクトと見たときに、かなりコアの仕事をいろいろやってきているのか。	日本データ通信協会の中に、Telecom-ISA C Japan という組織があり、そちらが特に日本の ISP 同士の連携という観点で、総務省からの請負案件を含め施策に深く関わっていただいている。

<p>(北大路座長)</p> <p>1者入札を防止する方法はないのか</p>	<p>現課としては、会計の担当の部署と意見交換なりご相談なりさせていただかないと、予算の費目の性質上、難しいと考えている。</p>
<p>(有川委員)</p> <p>単に会議の運営を専ら請け負わせているように見える。だとすると、やはり競争入札をする必要があるということか。</p>	<p>実際の請負の内容としては、会議でどんな議論をするのかをフィリピン側あるいは参加者と連絡を取り合い決めた上で、ワークショップを開催してもらっている。</p>
<p>(有川委員)</p> <p>セキュリティについて詳しくなくても大丈夫ということか。</p>	<p>一定程度、I S Pあるいは情報セキュリティに関する知識がないと、参加者との議論の中身やプレゼンの方向性などが議論できないため、セキュリティに関する知識は必要と考えている。</p>
<p>(有川委員)</p> <p>総合評価をするまではないということか。</p>	<p>適合証明書で、過去に年間に情報セキュリティ関係の動向に関して、A S E A N各国を含む国際的な調査研究を実施した実績又は能力を有することを要件の2つ目に求めている。</p>
<p>(園田委員)</p> <p>契約日をちょっと早めることはできなかったのか。</p>	<p>努力はしたが業務の都合あるいは見積の取得に時間がかかってしまい、起案等が遅れたもの。</p>
<p>(園田委員)</p> <p>準備期間が大変短い、実際の会議で何か問題が起きたとか、不手際があったとか、そういうことはなかったか</p>	<p>会議自体に不手際はなかったがご担当の方が過労で、ワークショップの当日、部屋に戻られて休憩をとられたことはあった。我々も負荷を分散あるいは軽減することを考えなければならなかったと反省した。</p>
<p>(北大路座長)</p> <p>例えば、単純な業務の部分だけは何か切り離して競争性を高くするとか、本当に専門性の高いところは、もっと長期的に何かコンサル的な契約をするとかできないか。</p>	<p>分けて調達をかけることについて、会計のご担当の方とも相談し検討してみたい。</p>

【抽出事案2】（一般競争入札・総合評価落札方式）

諸外国における電気通信事業に係る接続制度等に関する調査研究の請負

契約相手方：株式会社三菱総合研究所

契約金額：5,918,400円（落札率 99.8%）

契約締結日：平成26年11月28日

競争参加業者：4者

意見・質問	回答
<p>(有川委員)</p> <p>毎年やってきてると、今回何が違うのか</p>	<p>本日は原課が業務のため参加できていない。 具体的な違いは、原課の方でちょっと確認が必要。そこは持ち帰らせていただきたい。</p>
<p>(有川委員)</p> <p>総合評価の評価結果について公表していないというが、この評価基準は公表しているか。</p>	<p>事前に公表している。</p>
<p>(有川委員)</p> <p>評価について次の入札に反映する、フィードバックできるような情報はもらえないのか。</p>	<p>技術点の内訳については、照会があった際に調達原課の方で適切に判断して、可能な範囲で対応をしているかと思われる。</p>
<p>(有川委員)</p> <p>結果的にどういう配点になったかだけは通知するようなルールをしておかないと、業者の立場としては何で負けたのかがさっぱり分からない。あらかじめそういうルールがあつていいんじゃないかという気がするが。</p>	<p>あらかじめルールはないので、そこは今後の検討課題ではないかと思われる。</p>
<p>(北大路座長)</p> <p>場合によって、次回に原課の方に来ていただくことも可能か。</p>	<p>事業の内容等、本日いただいた宿題事項も含めて、次回お時間をいただけるようであれば、原課の方からご説明させていただきたい。</p>

【抽出事案3】（一般競争入札・最低価格落札方式）

青少年のインターネット・リテラシー指標改修に 関する調査研究の請負

契約相手方： 楽天リサーチ株式会社

契約金額：3,893,400 円（落札率 92.4%）

契約締結日：平成26年11月18日

競争参加業者：2者

意見・質問	回答
<p>（園田委員）</p> <p>競争入札という観点からは前回と落札者が替わったのは、ある意味で意味があったと思う。</p> <p>指標の改正というのは、こういうところに委託しないとできないようなものなのか。</p>	<p>基本的に有識者会議の開催やプレテストを行うといった事務作業もあることから、委託させていただいている。</p>
<p>（園田委員）</p> <p>改正内容としては、具体的にどういふ点が変わったのか。</p>	<p>例えば炎上事件とか、SNS等とか、動画配信系とか、でいろんな問題が起きておりまして、それをテストして改修するというところで、有識者などを集めて検討させている。</p>
<p>（園田委員）</p> <p>改修したのは有識者の方ではなく、楽天リサーチさんが改修したのではないか。</p>	<p>楽天リサーチさんが改修はするが、有識者会議を開催してテスト内容等を検討した上で、楽天リサーチさんが庶務も行っている。</p>
<p>（高橋委員）</p> <p>この改修、以前の業者と今回の業者と比べてみると、落札価格が半値以下になっているが、前回の業者と今回の業者で、やったことの違いというのは何か。</p>	<p>競争入札なので、楽天リサーチさんが実際のテストを1回やられて、これくらいの金額で行えると判断されて入札されたんだという認識。</p>

<p>【抽出事案4】（一般競争入札・最低価格落札方式）</p> <p>国民投票制度の周知（チラシ作成等）</p> <p>契約相手方： ミナトメイワ印刷株式会社</p> <p>契約金額：2,027,160円（落札率100%）</p> <p>契約締結日：平成26年9月19日</p> <p>競争参加業者：1者</p>	
意見・質問	回答
<p>（高橋委員）</p> <p>1者で入札率100%というのはいか がなものか。</p> <p>新規作成とのことだが、前のものとど こが変わっているのか。</p>	<p>「誰が投票できるの？」というところと、「海外に住 んでいるけど投票できるの？」という、いわゆる在外投 票と言われているものであるが、それが今まで入ってい なかったのが、今回から入っている点が大きな変更点で ある。</p> <p>4年後に18歳の人も国民投票権を得るということ が確実に決まったので、そこをメインに周知をしないと いけないというところで、この内容を盛り込んだところ も大きな変更点である。</p>
<p>（高橋委員）</p> <p>見積りについてだが、参考見積330 万円と、ミナトメイワの187万円があ って、330万円の方は過去に100万 部程度のリーフレットの調達実績がない 業者によるものか。</p>	<p>参考見積は2者から徴取されており、その内の1者は それなりの設備を持っている会社である</p>
<p>（高橋委員）</p> <p>調達期間が短かったので他者は出てこ なかつたということであるが、そもそも この印刷を急ぐ理由は何か。</p>	<p>国会の方から附帯決議として、できるだけ早期に広 報・周知せよということもあり、早く周知をしなくては ならないものだと判断した。見積業者に聞くと、最短で 二十日でできるということだったので、調達期間を短め に設定してしまった。</p>
<p>（北大路座長）</p> <p>実際には、期間が長かったらコスト安く できるかもしれない。</p>	<p>今回ご指摘いただいたところについては、できるだけ 納入期限を長く設けるによって、調達コストを安くした いと考えているところ。</p>
<p>（有川委員）</p> <p>発送部数の根拠は。</p>	<p>平成22年の国調人口で、各都道府県の18歳以上人 口を引っ張ってきて、予算の兼ね合いもあったので、単</p>

	純にそれを100分の1した数字を積み上げている。
(有川委員) このチラシを、どこへどう配るのか。	基本的には選挙管理委員会において役場や公共施設や学校等に配付している。